

～農業を仕事にしよう～



山本地域振興局農業振興普及課が主催するアグリセミナーが開かれました。これは、地域農業を担う新規就農者を育てるため、農業を学ぶ高校生の就農意識の啓発を図ることを目的としています。

第1回目は7月9日に行われ、生物資源系列の2年生17人が参加し、雇用就農について学んだほか、管内外の5カ所の法人を視察しました。このうち、(農)轟ネオファームでは、ネギの皮剥きや調整作業、包装



←様々な法人を視察し理解を深めました

作業を見学したほか、栽培に使用されている農機具の説明なども受けました。生徒からは、初任給や福利厚生制度などについて質問が多く出され、轟ネオファーム代表の高橋裕さんが丁寧に答えてくれました。

また、7月23日から1週間に亘って行われた第2回目のアグリセミナーでは、インターンシップ研修が行われ、生物資源系列の生徒5人が参加しました。能代市の朝場畜産で研修をした三浦桃花さんは「餌の掃き寄せやもみ殻を敷く作業が大変でしたが、将来は畜産関係を含め動物を扱う仕事に就きたいと思っているのでとてもいい経験になりました」と話してくれました。



～能代西高の特産品を販売～

→丁寧な接客をし、お客さんから喜ばれていました



7月26日と27日に市役所や学校などを回る「チャレンジショップ」を開催し、能代西高農場で育てられた野菜や花、生徒考案の弁当やお菓子などを販売しました。

27日には、JCHO秋田病院をビジネス系列の生徒5人が訪れ、たくさんのお客さんからお買い上げいただきました。生徒たちは、商品の特徴を訪れた方々に説明しながら販売を行い、完売となった商品も多数ありました。

この取組は、販売や流通の仕組みを学ぶことを目的としており、ビジネス系列の3年生が毎年実施しています。

今回店長を務めた成田綾音さんは「梅ロールやクロワッサン、野菜などが人気でたくさんの方が買いに来てくれて本当にうれしかったです。チャレンジショップを通して接客の大切さ、コミュニケーションの重要性ががよくわかりました。」と話してくれました。

